

授業科目 治療技術特論

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	理学
亀尾 徹、佐藤 成登志		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：GIO】 理学療法の基盤となる「思考」について考え、自己内省過程を学習する。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 人体の機能解剖を理解する。 2. 臨床で必要とされる実践的な評価方法を理解する。 3. 機能解剖、生理学などの基礎医学的知識と、臨床的評価・治療との関連づけを強化する。 4. 具体的治療技術を習得する。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	クリニカルリーズニング総論（１）			1～3	講義、担当：亀尾 徹
2	クリニカルリーズニング総論（２）			1～3	講義、担当：亀尾 徹
3	クリニカルリーズニングに基づいた評価と治療（１）			1～3	講義、担当：亀尾 徹
4	クリニカルリーズニングに基づいた評価と治療（２）			1～3	講義、担当：亀尾 徹
5	関節安定化エクササイズ総論（１）			1～4	講義、担当：亀尾 徹
6	関節安定化エクササイズ総論（２）			1～4	講義、担当：亀尾 徹
7	クリニカルリーズニング演習（１）			1～4	演習、担当：亀尾 徹
8	クリニカルリーズニング演習（２）			1～4	演習、担当：亀尾 徹
9	治療演習（１）			1～4	演習、担当：亀尾 徹
10	治療演習（２）			1～4	演習、担当：亀尾 徹
11	マイオチューニングアプローチ（MTA）総論			1～3	講義、担当：佐藤 成登志
12	MTA演習（１）			1～4	演習、担当：佐藤 成登志
13	MTA演習（２）			1～4	演習、担当：佐藤 成登志
14	MTA演習（３）			1～4	演習、担当：佐藤 成登志
15	まとめ				担当：亀尾 徹 他
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		特になし			
参考書		特になし			
その他の資料		必要に応じて配布			
【評価方法】 出席、授業態度、定期試験			【履修上の留意点】		